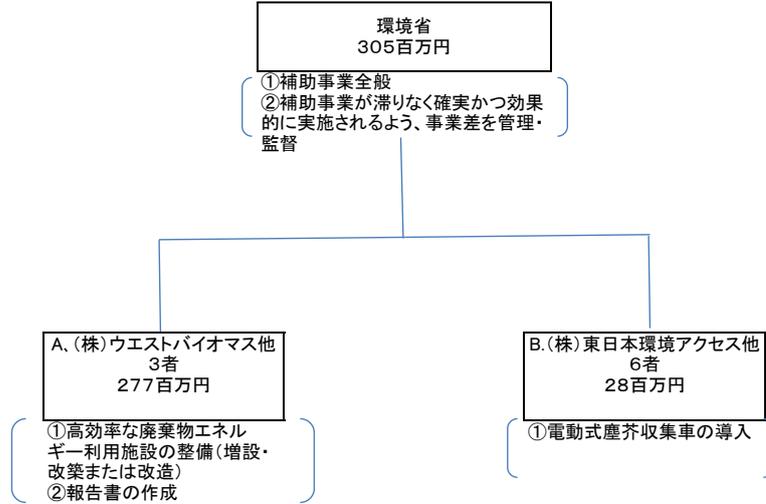


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	廃棄物エネルギー導入・低炭素化促進事業		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度～未定		担当課室	産業廃棄物課 廃棄物対策課		産業廃棄物課長 塚本直也 廃棄物対策課長 山本 昌宏		
会計区分	エネルギー対策特別会計(エネルギー需給勘定)		政策・施策名	1.地球温暖化対策の推進 1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制				
根拠法令(具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律(平成19年3月31日法律第23号)第85条第3項第1号ハ		関係する計画、通知等	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(廃棄物エネルギー導入・低炭素化促進事業)交付要綱 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(廃棄物エネルギー導入・低炭素化促進事業)実施要綱				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	廃棄物の焼却熱や、廃棄物及び廃棄物由来バイオマスのエネルギーを利用する施設の整備、電動式塵芥収集車の導入等を促進することによって、廃棄物分野におけるエネルギー起源二酸化炭素排出量を削減する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	高効率熱回収や燃料製造などの、廃棄物の焼却熱や廃棄物及び廃棄物由来バイオマスのエネルギーを利用する施設の整備に対して、施設整備費の1/3または1/2を上限として増高費用(追加的に生じる費用)を補助する。また、電動式塵芥収集車(バッカー装置を電動化した塵芥車。電動化と併せて車体をハイブリッド化又はCNG化する場合を含む。)を導入する際に通常車両との差額の1/2を補助する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	1,300	789	775	818	1,200	
		補正予算	—	—	—	—	—	
		繰越し等	535	206	—	—	—	
		計	1,835	995	775	818	1,200	
		執行額	765	772	305	—	—	
	執行率(%)	42%	78%	39%	—	—		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	本事業はモデル事業を対象としており、他の廃棄物処理事業者への同様の事業に対する広がりやPR効果が期待できることから、成果指標を定量的に捕捉することができないため。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	補助事業実施箇所数		活動実績(当初見込み)		4	3(施設) 5(台)	4(施設) 9(台)	—
					()	()	()	
単位当たりコスト	56,817(円/t-CO2)		算出根拠	・廃棄物処理施設 過去の実績より、1年あたりの事業全体のCO2削減単価として56,453(円/t-CO2/年)を設定 $730,000,000(円) \div 56,453(円/t-CO2/年) = 12,931(t-CO2/年)$ ・低炭素自動車の場合 $(7台 \times 3.93t-CO2/台年) + (2台 \times 6.55t-CO2/台年) = 41(t-CO2/年)$ $774,925,000(円/年) \div (13,598 + 41(t-CO2/年)) = 56,817(円/t-CO2)$				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	二酸化炭素排出抑制対策等補助金	765	1,196	補助対象の拡充				
	二酸化炭素排出抑制対策事業等委託費	53	4	調査事業の廃止				
	計	818	1,200					

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	廃棄物分野におけるエネルギー起源二酸化炭素排出量を削減するため、国が事業を実施する。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	補助事業が滞りなく確実かつ効果的に実施されるよう、事業者を管理・監督した。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	補助目的どおりの活用がなされている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	補助目的どおりの活用がなされている。		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>平成22年度における行政刷新会議の指摘を受け、平成23年度当初予算額を半減させた。また、平成23年度より廃棄物熱回収施設の対象を高効率な事業に限定するとともに、電動式廃棄物塵芥収集車に限定した。</p> <p>また、平成23年度より高効率熱回収施設または燃料製造施設の整備事業を採択する際には、技術審査委員会を設置し、外部有識者の意見を聞いた上で補助事業者を決定することとし、補助目的に合致したモデル事業を採択できる制度を創設した。</p> <p>平成25年度からは、再生可能エネルギー特措法の施行にともない、バイオマスを用い売電する施設を対象から除外し、高効率廃棄物熱回収、バイオマス熱供給、廃棄物・バイオマス燃料製造やオフライン熱輸送システムの事業に特化。</p>					
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	24年度において低い執行率となった要因を十分に分析し、事業内容の改善を図るべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	事業の認知度を上げるため、関係機関へPR活動を行った。また、補助対象の拡充により、需要拡大を図り、執行率の改善を行っていく。					
備考						
<p>事業仕分け第1弾「1-53 民間企業等に対する導入等補助事業等(エネ特)のうち、(4)廃棄物処理施設における温暖化対策事業(エネ特)」WGの評価結果: 予算要求の縮減(30%~40%を縮減)</p> <p>事業仕分け第3弾「A-12 エネルギー対策特別会計 エネルギー需給勘定導入等補助事業②のうち、(3)廃棄物エネルギー導入・低炭素化促進事業」WGの評価結果: 予算要求を半減を目途に圧縮。廃棄物熱回収については、対象を高効率のものに限定したうえでさらにモデル地域を絞り込む。塵芥車等については、例えば電動パッカー車に限定する。</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	341	平成23年	319	平成24年	316

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)ウエストバイオマス			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	施設整備工事ほか	154			
計		154	計		0
B.(株)東日本環境アクセス			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	車体購入費(通常車との差額分)	7			
計		7	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ウエストバイオマス	廃棄物熱回収設備の整備事業	154		
2	(株)太洋サービス	廃棄物熱回収設備の整備事業	84		
3	南予エコ(株)	廃棄物熱回収設備の整備事業	24		
4	(株)クリエイティブ	廃棄物燃料製造	14		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東日本環境アクセス	電動式塵芥収集車の導入	7		
2	小田原市	電動式塵芥収集車の導入	6		
3	(株)静岡資源	電動式塵芥収集車の導入	4		
4	ヤマトリース(株)	電動式塵芥収集車の導入	4		
5	世田谷区	電動式塵芥収集車の導入	3		
6	佐用町	電動式塵芥収集車の導入	3		
7	かほく資源開発(株)	電動式塵芥収集車の導入	2		